

施策情報のグループ共有化

①情報連携の取組み(EDI化の推進、UI/UXの取組み、IT推進の取組み)について

	日ノ丸西濃	埼玉西濃	西濃エクスプレス	S&Nロジスティクス	朝日梱包
現状 (状況及び、課題)	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お客様の課題やお困り事の収集や把握に時間や手間を要しており、クイックレスポンスな対応に課題がある</li> </ul>	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現状まだマジックIIの導入を頂けないお客様の中で独自のシステムをご利用の為変更に至らない。変更するにしてもシステム改修に費用がかかるとのこと</li> </ul>	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弊社受注システム「マジックEXP便貸切便受注システム」において、前日までの受注率は4月度56.7%。</li> <li>今後も輸送サービスの前広な展開や、業務効率を向上していくためには、出荷情報の早期把握をさらに進める必要があり、前日までの受注を推進していくことが必要</li> </ul>	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロジスティクス事業3拠点にて、EDI化率80%未満となっている</li> </ul>	<p>【EDI化の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西濃運輸・ヤマト運輸出荷分についてはEDI化100%完了</li> <li>残りはゆうパックのみ。</li> </ul>
新たな取組み (課題解決策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>セイノーグループの輸送モードやお困り事解決を紹介したチラシを作成し、その中に「お困り事アンケート」のGoogleフォームQRコードも載せることで、アンケート回答の集約・回答に対する即時渉外を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マジックII未導入のお客様には運賃改定と並行して導入をお願いしております。その中で独自のシステム利用で改修に費用がかかる場合、値上率を下げるかわりにマジックII導入をしてもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「マジックEXP便貸切便受注システム」において、お客様毎に、ご出荷日に対し何日前にオーダーを入力頂いているかを可視化</li> <li>出荷当日にオーダーを入力頂いている案件に対し、原因の共有と対応策を策定</li> <li>2025年3月の前日までの受注率の目標を75%とし、各月ごとにマイルストーンを設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模案件に於いて、EDI化のメリットを説明しつつ、運賃改定と並行して交渉を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゆうパックについては弊社のシステムを使用し複写伝票を使用しているが、ゆうパックのシステムの住所・記事欄等に制限が多く進んでいない状況</li> </ul>
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> <li>446枚のチラシ配布を行い問合せが87件ありそのうち、新規獲得が3件となった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>EDI化率 2023年度6月 95.17% 2024年度6月 94.88% 4月にシステム改修しマジック導入荷主1件あり導入荷主の集荷時間短縮に繋がった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前日までの受注率は2024年3月度56.6%。</li> <li>2024年度4月度56.7%、5月度55.5%、6月度58.7%(3月対比2.1%up)。5月度はGW後の緊急需要が増えたことにより、一時的に低下したが、進捗トレンドにある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当月でのEDI化実績はありませんが、新規の際はEDI化の確認をすることや、各グループでの取組実績を踏まえて渉外を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体のEDI化率は95%。ゆうパックの割合的には全体の5%程度</li> <li>弊社システムとは別の仕組みを構築し100%を目指して行く</li> <li>EDI化100%達成する事で、出荷状況のデータ提供も可能となる</li> </ul>
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>セイノーグループ輸送モードを認知頂き、お客様とコンタ外を取る事で「物流のお困り事があれば、まずは日ノ丸西濃へ」という流れを構築する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出荷の多いお客様のみ該当となります</li> <li>マジックIIを導入することにより集荷時の手間が減り時間短縮となり労働時間も減らすことが出来ます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様目線で、前日までにオーダーを頂くことのメリットをアピール(メリット:繁忙・季節を問わず安定輸送の確保、集荷希望時間への対応や、商品特性に合った車両手配や輸送方法のご提案など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様に対してのメリットと、当社、グループ会社のメリットを改めて教育する等したことで、EDI化推進の動きが活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様からの梱包発送の依頼は出荷完了で完結ではない為、出荷後の状況提供をリアルタイムで提供する事でお客様の増加に繋がって行く</li> </ul>